様式３

燃料調整シート

**「都道府県」又は「関係省庁」の燃料供給要請担当者は、**

**重要施設管理者に確認し、１．２．３．について記載する。**

**＜１．要請担当者＞**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 都道府県／関係省庁 | 組織名称 |  |
| 担当者名 |  | 電話番号 |  |

**＜２．納入先情報等＞**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 納入先施設 | 施設名称 |  | 施設番号（注１） |  |
| 住所 | 〒　　－ |
| 燃料担当者名 |  | 電話番号 |  |
| 携帯番号 |  |
| 平時納入業者名(系列にチェックを入れる） |  | 電話番号 |  |
| ☐出光 ☐太陽 ☐コスモ ☐キグナス ☐シェル ☐JXTG ☐PB・その他 |
| 燃料供給費用支払予定者(注２) | 組織名称 |  |
| 住所 | 〒　　－ |
| 担当者名 |  | 電話番号 |  |
| FAX番号 |  |

（注１）石油連盟との間で、重要施設に関する情報共有覚書を締結している場合は８桁（XXX-XXXXX）の施設番号を記載。

（注２）要請を経て供給される燃料は有償の取扱いとなるため、要請担当者と施設管理者との間で費用負担者について合意の上、記載。

**＜３．要請内容＞**

|  |  |
| --- | --- |
| 品目 | ☐ガソリン　　☐ジェット　　☐灯油　　☐軽油　　☐Ａ重油（☐LSA/☐HSA）（注３）☐その他（　　　　　　　　） |
| 数量 | 　　　　　　　　　　　　KL | ※２KL以上の要請は、「２KL単位」で要請すること |
| 荷姿 | ☐ローリー（含ミニ）　　☐ドラム缶　　☐携行缶・ポリタンク　　☐コンテナ　☐その他（　　　　　　　　） |
| 配送希望日 | 年　　　　　月　　　　　日 |
| **（以下水色枠は上記で「ローリー（含ミニ）」を選択した場合に記載。）** |
| ローリーサイズ上限 | ☐14KL以上（　　 KL）・　☐14KL未満※納入先施設の所定位置まで進入可能なタンクローリー上限サイズ(別紙) |
| タンク形態 | ☐地下　　☐地上（ポンプ有）　　☒地上（ポンプ無）　☐その他（　　　　　　　　） |
| タンク番号 |  | タンク容量 | KL | タンク空き容量 | KL |
| 必要ホース長 | 　　　　　　　　　　　ｍ※６ｍ以上の場合は延長接続ホースの有無とその長さ（☐有（　　　　ｍ）、　☐無） |
| 給油口規格 | 口径 | ☐1.5インチ　☐２インチ　☐2.5インチ　☐３インチ　☐3.5インチ　☐４インチ☐その他（　　　　　） |
| 名称 | ☐JIS（PT・PF）　☐出光　☐極東　☐金剛　☐シェル　☐消防　☐タツノ　☐東急☐名古屋　☐Ｍネジ　☐旧モービル 　☐旧ゼネラル　☐旧エッソ　☐NM-L　☐SI　☐T-80　☐T-80L　☐T-100　☐ＮＭ　　☐SI-301L　☐その他（　　　　　　　　　） |
| 形式 | ☐外ネジ　☐内ネジ　☐ワンタッチ　☐その他（　　　　　　　） |
| 備考※施設タンクの在庫逼迫度等 |  |

（注３）「□A重油」は、低硫黄A重油の場合は「□LSA」、高硫黄A重油の場合は「□HSA」にもチェックを入れる。

**※荷姿のドラム缶、携行缶、ポリタンク、コンテナ等は各施設で用意する。**

**＜４．要請処理状況＞**

※本項は政府災害対策本部、資源エネルギー庁、石油業界において記載

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日時 | 内容 | 所属 | 担当者 |
|  | 要請受領 | （都道府県／省庁→）政府災害対策本部 |  |
|  | 要請受領 | （政府災害対策本部→）資源エネルギー庁 |  |
|  | 要請受領 | （資源エネルギー庁→）石油連盟／全石連 |  |
|  | 要請受領・仕分開始① | 石油連盟（対元売）／全石連（対県石、石商、役員等） |  |
|  | 要請受領・仕分開始② | 県石（対販売業者） |  |
|  | 要請仕分報告 | 石油連盟／全石連（→資源エネルギー庁） |  |
|  | 運送事業者報告 | 石油連盟／全石連（→資源エネルギー庁） |  |

**＜５．配送手配状況＞**※本項は石油業界において記載

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 燃料提供者（元売） | 事業者名 |  | 支店／部署名 |  |
| 燃料提供者**（特約店・販売店）** | 事業者名 |  | 支店／部署名 |  |
| 輸送事業者 | 事業者名 |  |
| 配送車両・予定 | 車番 |  | ドライバー名 |  |
| 配送予定日 |  |

【別紙】

・ローリーサイズ上限について

荷卸しのために施設内の燃料タンク前の所定位置まで進入できるタンクローリーサイズの上限を記入してください。

石油元売会社が使用するタンクローリーのサイズは、小さいもので14KL積から最大で28KL積までサイズが分かれています。詳細は下表を参照してください。

表　石油元売会社が使用するタンクローリーのおおよそのサイズ

（積載量別）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 積載量 | 所要占有幅 | 全長 | 全高 | 全幅 |
| 14 kℓ | 約６m | 約９m | 約３m | 約2.5m |
| 16 kℓ | 約６m | 約9.5m | 約３m | 約2.5m |
| 20kℓ | 約7.5m | 約１２m | 約３m | 約2.5m |
| 新型24kℓ | 約7.5m | 約12.5m | 約３m | 約2.5m |
| 24kℓ | 約８m | 約１４m | 約３m | 約2.5m |
| 26kℓ | 約９m | 約１５m | 約３m | 約2.5m |
| 28kℓ | 約９m | 約１６m | 約３m | 約2.5m |

* 車両メーカーにより若干規格は異なります。
* 所要占有幅とは、タンクローリーが90度旋回する際に、必要となる幅です。例えば26KL積ローリーの場合、車体の全幅は2.5mでも、旋回する際は直径9mの道路幅が必要となります。

「新型24 KL」とは従来の24 KL積ローリーより小型化した新しい規格のタンクローリーです。従って、24 KL積ローリーは2種類存在しますが、燃料調整シートには数字のみを入力し、車長の短い「新型」に限定される場合はその旨備考欄に記入してください。